

小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(平成28年度実績)

■平成28年度 教育・保育:「量の見込み」に対する「確保の内容」及び「実施時期」 (※事業計画書20ページ一部抜粋)

		計画策定時 (A)					
		1号	2号		3号	0歳	1・2歳
			幼稚園 希望	左記 以外			
①量の見込み		800	340	770	700	220	480
②確保方策	特定教育・保育施設	250		732	668	195	473
	確認を受けない幼稚園	1,305		-	-	-	-
	特定地域型保育事業	-		-	-	-	-
	認可外保育施設	-		70	30	5	25
	合計	1,555		802	698	200	498
過不足 (②-①)		415		32	△ 2	△ 20	18

幼稚園 ← → 保育所

		実績(H29.3現在) (B)					
		1号	2号		3号	0歳	1・2歳
			幼稚園 希望	左記 以外			
		1,265		729	644	171	473
		475		722	668	192	476
		1,130		-	-	-	-
		-		-	19	3	16
		-		80	20	5	15
		1,605		802	707	200	507
		340		73	63	29	34

幼稚園 ← → 保育所

		実績(B)-計画(A)					
		1号	2号		3号	0歳	1・2歳
			幼稚園 希望	左記 以外			
		125		△ 41	△ 56	△ 49	△ 7
		225		△ 10	0	△ 3	3
		△ 175		-	-	-	-
		-		-	19	3	16
		-		10	△ 10	0	△ 10
		50		0	9	0	9
		△ 75		41	65	49	16

幼稚園 ← → 保育所

平成28年度の取組と今後の事業計画、課題等

保育所部分の利用定員(確保方策)は、平成26年度に本計画を策定後、特定教育・保育施設で10名の減少があったものの、特定地域型保育事業の区分で利用定員19名の小規模保育事業所の事業開始があったため、保育所部分の全体では計画策定時と比べて9名の増加となった。

平成29年3月現在では、幼稚園部分の利用定員1,605名に対し1,265名の利用実績があり、保育所部分では1,509名の利用定員に対し1,373名の利用実績であった。この結果から、保育所部分において、136名分保育需要を上回る利用定員を確保しているように見受けられるが、特定の保育施設への入所希望や、保育士不足から各保育施設において十分な保育士数を確保できていない状況があり、希望する保育所等に入所することができない入所待ち児童数は、平成28年4月1日現在23名であったところ平成29年3月1日現在103名となり、この人数を利用実績に加味すると1,373名+103名=1,476名となり、保育所全体では需要と供給がほぼ均衡していると考えられる。

市としては、増大する低年齢児の保育ニーズに対応するため、平成29年4月から市立保育所の歳児別利用定員の見直しを行ったが、今後も、従来型の幼稚園や認可保育所から子ども・子育て支援新制度幼稚園や認定こども園へ移行する施設が増えることが予想されるところであり、利用定員の設定については、事業者の意向を確認しながら、市全体の保育需要の状況を勘案し、子ども・子育て会議の意見を伺った上で、市の方針を決定する。